

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	一般小売店 〔鞆・袋物〕 （経営者）	お客様の様子	・沖縄への観光客数も増加しているようだが、旅行に出る人も増加しているようで旅行かばん等、その他関連商品の動きが以前よりも活発になっている。
		衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・販売単価が徐々に上がっている。
		その他専門店 〔楽器〕（経営者）	販売量の動き	・観光客の好調さと周囲のホテル建設やスーパーの新規オープン等、景気回復の感がある。好調の部分と落ち込みの部分がはっきりとみえているが、差し引くとやや良い方向に向かっており、更なる景気回復の様相もみられる。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・競合店が多くなった割には前年比105%の来客数で推移している。しかし、値段に対しては非常にシビアで、仕入額が値上がりしても、商品の値上げができないのが現状である。
		観光型ホテル （商品企画担当）	単価の動き	・昨年と比較すると稼働率はほぼ変わらないが、単価が若干上昇している。
		住宅販売会社 （経営者）	競争相手の様子	・競争相手の業者が、盛んに設備投資に向かっている様子が見受けられる。
	変わらない	一般小売店〔衣料品・雑貨〕 （経営者）	販売量の動き	・3か月前は例年以上に売上好調であったが、今月は例年並みの売上となっている。
		百貨店（担当者）	販売量の動き	・今月は2個の台風が接近したことにより売上高は大変苦戦しているが、台風の影響を差し引いても前年比で3%の減少となっている。部門別には婦人衣料、食品が好調で、台風の影響を差し引くと前年比で20～25%前後の伸び率となっている。婦人衣料についてはクリアランス等の価格訴求が奏功した結果であるが、反面、紳士、子供衣料は量販店の価格攻勢に負け、大幅なマイナスとなっている。消費動向の回復傾向は変わらないが、クリアランス前後の価格要素が消費決定の判断材料として高くなってきている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3か月前に比べて、来客数、客単価ともほとんど横ばいである。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客単価は前年よりやや上昇しているが、それは消費税総額表示により切りの良い価額にしたための上昇と考えられる。実質に変化はない。
		家電量販店（副店長）	単価の動き	・客単価は変わらず減少しており、平均単価が低くなっている。
		旅行代理店（経営者）	それ以外	・沖縄への観光客の入込が順調に推移しており、景況感の良い状況が続いている。
やや悪く なっている	スーパー（企画担当）	競争相手の様子	・競合各社の新規店舗オープンがいくつか予定されており、それに伴い部門別にはばらつきはあるものの、幾分売上件数が前年を下回っている。	
	観光型ホテル （営業担当）	販売量の動き	・台風のため、修学旅行やその他団体の予約キャンセル、マリレジャー利用の減少により、売上が減少している。	
	観光名所（職員）	来客数の動き	・当施設への来客数は前年同月比で3か月前とほぼ同程度の伸びとなっている。しかし前年の6月はイラク戦争、SARSの影響で前年同月比で7%ほど減少した月で、このことを考慮すると実質的な伸びは3か月前よりは低い。	
悪く なっている				
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている			
	変わらない	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量があまり変わっていない。

	やや悪くなっている	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の企業の傾向として、業務改善を図り輸送部門をアウトソーシング化する動きがあるなど、当社としては物量増加のチャンスなのだが、沖縄県は遠隔地であることから、輸送の面でコスト高になるとの理由で物量が減少する動きが出てきている。当社では本土に支店を設け、人材を派遣することで対策を講じ始めたところだが、今後の対策としては本土業者との提携・コラボレート・人材確保等の検討が求められる。 ・売主と買主の希望価格に大きな開きがある。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の掲載件数が先月比で減少しているが、先月が集中的に好転したことによるもので、一時的な変動といえる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・県内における学卒者対象の求人数が増加傾向にあり、また、県外企業の求人件数も増加しており、企業の活発な社員採用の状況がうかがえる。
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・観光関連業の好調により、建設業以外は全般的に好転している。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	採用者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣依頼は継続的にあるが、以前に比べて派遣社員に対する要求水準が非常に高く、相当する人は少なくなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・新規求人数は3か月前と比較して1.4%の減少となっている。雇用形態別で見ると、一般求人は構成比76.2%、3か月前比で4.8%の増、パート求人は23.8%で3か月前比32.1%の減少となっており、産業別で見ると、運輸、通信業、保険業、不動産業を除く、各産業全般で微減となっている。有効求人倍率は0.41倍で、3か月前と比較して0.04ポイント減少している。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-